

久留米市キラリ輝く市民活動活性化事業
虐待のないまちづくりをめざして、みんながつながろう

第3回障害者虐待防止研修会 アンケート集計結果

(H26.11.23 於 久留米市総合福祉センター アンケート回答数=38人)

1) (A) お住まい

- 1 久留米市=28人
- 2 その他=10人 (小郡市1人、大刀洗町1人、うきは市1人、筑紫野市2人、みやき市1人、八女市1人、大牟田市1人、朝倉市1人、無回答1人)

(B) 職 種

- 1 一般=4人 2 福祉関係(障害)=10人 3 福祉関係(高齢)=5人
- 4 法律関係=1人 5 行政=3人 6 その他=14人 (医療関係=2人、
ふくおかネット市民後見人=5人、障害者の親=5人、学校教員=2人) 未記入=1人

2) この研修会はどこでお知りになりましたか? (複数回答ありました)

- 1 広報=2人 2 チラシ=7人 3 友人・知人=6人 4 ホームページ=0人
- 5 関係機関=12人 6 その他=10 (職場=7人、ふくおかネット=3人) 無回答=1人

3) 講師の講義についてのご意見・ご感想をお書きください。

(1) 大変良かった=32人

◎障害分野は苦手だったけど、対象者は違えど対応は同じだと思った。現場で働く者が、何でもチャレンジしていけるようなスタッフ環境を作りたいと思った。虐待は、しようと思ってするのではなく、不適切なケアが積み重なって行われるもの。制限するのではなく、対象者のQOLが高まるような肯定的対応をするためにも、きちんと対象者と向き合うことが大切だと思った。

◎強度行動障害についての話を聞くのは初めてだったので、大変参考になった。

◎ただ行動を止めるのではなく、本人が納得できる方法を考える。相手の立場になって考える。あくまでエスコートが大事。必要以上のことをしない。押し付けてはいけない。相手が引かないような対応を考えます。

◎実践に裏付けされた内容でとても良かったと思います。

◎本人の行動について、事実から分析する。確かにそうだと思います。しかし、それをビデオにしてほかの人にも証明できるような取り組みはできていません。行動のパターンから説明しても異論が強く黙殺されてしまう場合が多く、共通理解につなげるのが難しい。

◎今までこのような講習がなかったので、障害者一人ひとりのいろんな行動に対し、支援者が理解を深める努力をしていかなければいけないとつくづく思った。どのような分析をしていけばいいのか、支援において本人の行動パターンをよく知ることの大切さを教えられた。

◎掘り下げて(普段知らないことが多い中)説明を聞いたことが、症例に基づき、わかりやすく良かったと思いました。

- ◎長瀬先生に毎年来てもらいたいです。説得力があり、納得できました。学び足りません。
- ◎おもしろかった。勉強になりました。
- ◎軽い気持ちでの研修会参加でしたが、奥が深い課題に勉強になりました。施設でも障害者支援サービスを行っていくため大変勉強になりました。
- ◎現在、長瀬先生に支援してもらっているのでも先生の講義を聞いてとても理解を深めることができます。
- ◎具体的な事例があり、とてもわかりやすかったが、あらためて自分の勉強不足を感じました。
- ◎困った行動にばかり目に入りますが、環境設定やアセスメント、評価が重要だということがよく分かりました。それと人の関わり方、それができればその人自身の人生すら変わってくるのだと思いました。
- ◎施設等の関係者には大変良かった講義であったと思います。
- ◎楽しく解りやすかった。機会があればさらに詳しい話が聞きたいと思いました。

(2) よかった=6人

- コミュニケーションについてのヒントが得られた。(自己の知識量により、つらい点もあった)
- もっと話が聞きたいと思った。
- 強度行動障害への支援について、症例を出してわかりやすかった。視点の違いを感じた。
- いつもわかりやすく話してもらえるので、問題点や考えが整理できます。

(3) よくわからなかった=0人

4) 演習(グループワーク)についてのご意見・ご感想をお書きください。

(1) 大変良かった=21人

- ◎小会議の練習になった。少ないテーマで相手の意見を受け止めながら、自分の意見や推論も出して発展させていく。職場では、力のある人がおさえにかかるので意見は出しにくい。
- ◎3分以内で演習が終わるとというのがとても良かった、面白かった。
- ◎ワークの進め方も参考になった。

(2) よかった=13人

- 何がそうさせているのか、生活導線を考え、道具の配置も考えていく。少しでも穏やかになれるのかな…。
- 考える場を持てた。
- 戸惑いを覚えて意見もあまり出なかったが、何となくこれからのことに役立つような気がする。
- 最初講師の意見を理解できない人が多かったが、症例の具体的な説明がなされて、みなさん納得したようでした。私自身も納得できました。
- グループワークがスムーズに進むため、最初に自己紹介などあれば、もっと意見の交流ができたのではないのでしょうか。

- 最初は意見が出ず、心配しましたが、徐々に意見が出るようになり良かったと思いました。
- グループワークをすることは良かったと思います。
- 導入部分でのグループワークで勉強になりました。
- グループでそれぞれがもっと意見が出し合えたらと思った。6人で3人ぐらいの発言であったので。

(3) よくわからなかった=4人

- ・グループワークに入る前のアイスブレイクがほしかった。(なかなか発言される人がなく、沈黙の時間が多かった(笑)。)
- ・難しかった。
- ・グループの中での討議の進行が難しかった。なかなか活発な意見が出ずにいた。自己紹介があり、進行役を決めていればもっと良かったと思う。

5) 本研修会について、また障害者虐待防止についてのご意見・ご感想があればお書きください。

- 支援者の意識の変革と叫ぶだけでは権利侵害は無くならない。人間の行動について科学的メカニズムに基づいた行動の理論と実践が必要なことがよく分かりました。大変有意義なお話でした。ありがとうございました。
- 専門的な講義も必要と思いますが、幅広い研修ができる講義を希望します。
- 虐待は人間一人ひとりが人権意識、認識を身につけていないと誰にでも突発的に、継続的に起きやすいものであり、今、社会問題化している現象と思う。
- 発達障害がなぜ多くなったのか。
- 他人に対していろいろな行動を起こす。その原因、本人の意図を考えて、どういう思いでそういう行動になっているのかについて、じっくりと見極めることが大事だと分かった。本人に寄り添い、本人の行動を分析する必要がある。行動スケジュールのシステムの必要であり、そのスケジュールリングがいかにより本人にとって大事なことが良く分かった。もっと事例を映像で見たかった。
- 時間が短すぎたと思いました。
- 管理職、施設長向けがあるといい。組織ではムズカシイ…。
- 福祉の現場でさえもきちんとした行動障害の方の支援を学ぶことが少ないと実感しました。
- 施設従事者にとっては大変役に立ったと思う。
- 今日はありがとうございました。また次回も楽しみにしております。長瀬先生を久留米市で買ってほしいです。そして久留米市が変わっていくことを強く願います。
- 知識でわかっている、現場で実際対応することのむずかしさを感じました。
- 具体的方法をもっと広め、現実はどう皆が対応すべきか学んでいくことが大切だと思う。民間で育てた現場にもっと生かすべき。

以上